

尋常小學校讀本

倉知新吾編輯

二

檢定申請本

K120.8

50

2

K120.8

50

2

倉知新吾編輯

尋常小學校讀本

益智館 同梓
古香堂

尋常小學校讀本卷二

ヨアケ

ヨガアケマシタ。

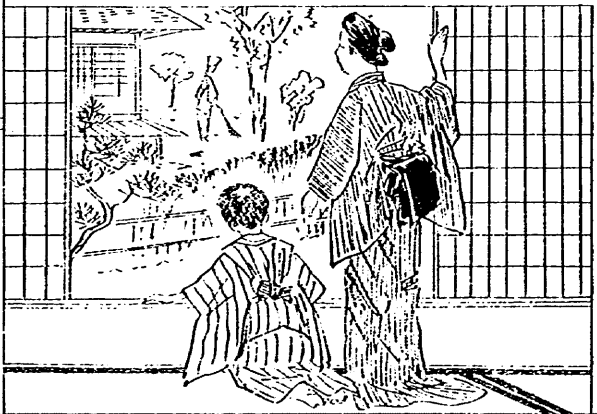
ケフハ、ヨキテンキデ

アリマス。

トナリノ人ハバヤ、ニ

ハヨハイテヨリマス。

人



つれさうひ



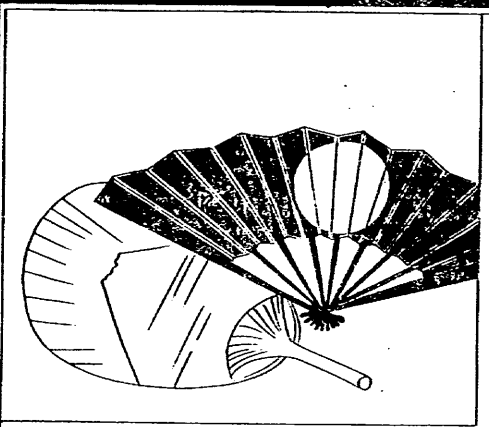
たらうさん、まだ、かく
かうへ、ゆきませぬか。
はいいま、本をつ、ん
でをります。
しばらく、おまちくだ
さい。

本

ガクカウノアサ
ジラウサン、ケフハ、犬ヲツレテ、マ
リマシタカ。
ハイ、モンノソトマデ、
マヰリマシタ。
犬ハ、ヒトリデ、ウチへ、
カヘリマスカ。
サヤウデス。 犬



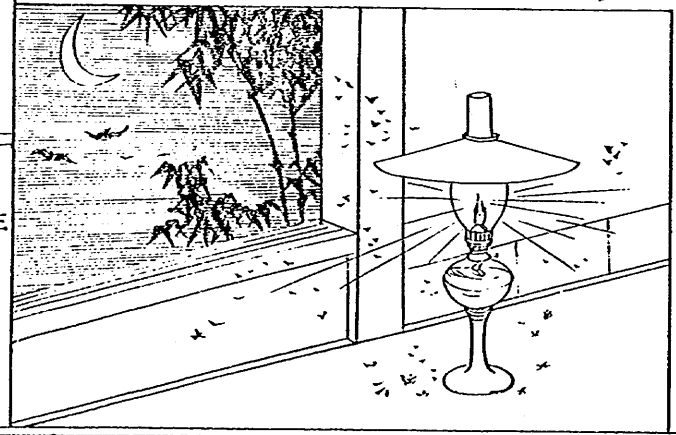
あふぎにうちは
このづをみよ。下にあるは、うちはに
て、上はあふぎなり。



あふぎをまたせんす
ともいふ。
あふぎと、うちはにハ
なにをかきてあるか。
上 下

ヒグレ

日クレテ、ランプニ、火
ヲトモセリ。
多クノムシハ、火ヲミ
テ、アツマリキタレリ。
ソノウチ、ヤケテシヌ
ルモノモ多シ。
日 火 多



虫杞くり



あうこに、たいこをう
ち、多くの人が、たいま
つをもちて、田のあひ
だをゆくおれ、虫杞
くりとて、いねにつく
虫をとるなり。

田虫

ツリ

今日ハ、ヨキ天キデスカラ、ツリニユ
キマセウ、コノゴロハ、
アユガ、多クツレルツ
ウデス。アナタハ、サヨ
ヨモツテ、キマスカ。
イエ、モチマセヌ。
ソレナラ、ワタシノヲ、



一本カシテアゲマセウ。

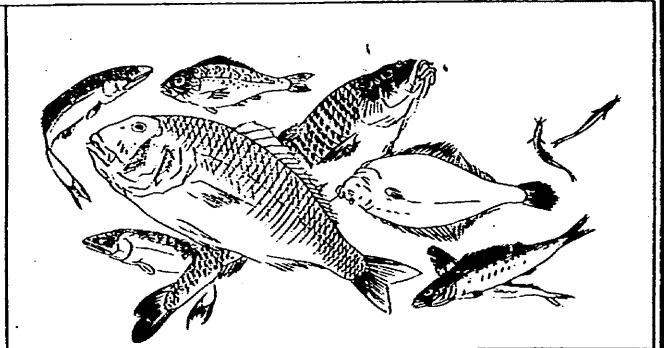
今日 天 天

あゆ

あゆハ川にーやうずるうをなり。
かたちほろながくしてはら白くせ
なすこーくくろしあぢはひよー。

川 白 白

魚



魚 生

魚にハ川に生ずるもの
とうみに生ずるものと
あります。
こひふなどちやうなど
ハ川に生ずたひかれひ
いわしなどはうみに生
じます。

カキ

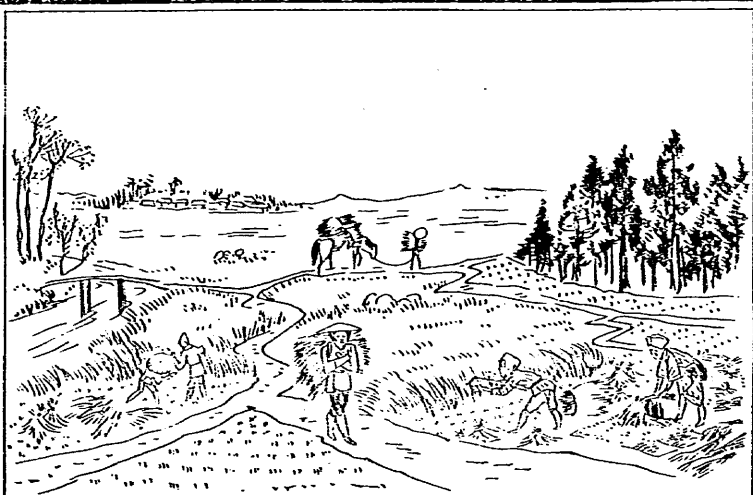
アネサン、アノカキノ木ヲゴランナ
 サイ。アチラノ枝ニ、赤イノガ、アリマ
 スカラ、トツテ
 クダサイ。
 イエ、アレハ、マ
 ダジユクシマ
 セヌ。ソレヨリ、



コチラノハ、ヨウゴザリマス。
 ソレナラ、トツテクダサイ。
 ハイ、トツテアゲマスヨ。アトハ、モウ、
 四、五日タツト、ミナ、アマウナリマセ
 ウ。
 木 枝 赤

かり入れ

右に、すぎのはやゝあり。左に、一すぢ



の川あり。そのあひ
だに、ほろきみちあ
り。みちは、いくすぢ
にも分れたり。
いねハ、田にみのれ
り。人々ハ、かり入れ
にいろがはし。男は、
いねをかり、女ハ、ほ

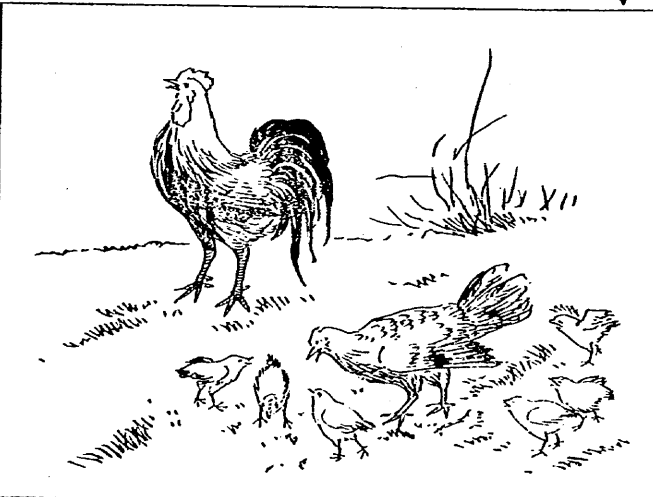
をこく。こなたには、せにたひてくる
もあり。かなたに、いゝまにつみてゆ
くもあり。

右 左 分 入 男 女

ニハトリ

コノメンドリハ、六パノヒナヲ、ツレ
テヲリマス。オヤドリガ、モミヲミツ
ケテ、コッコくトヨビマス。ヒナハ、ピ

ヨピヨトナイテオ
 ヤドリノソバニワ
 シリユキマス。
 アレオヤドリガア
 シデ土ヲカキマス
 トヒナガ虫ヲヒラ
 ウテタベマス。
 ヒナハアイラシイデハアリマセ又



カオヤドリハマコトニヨクヒナヲ
 カハユガリマス。
 にはとりは家にかふ鳥にしてこく
 もつ又ハ虫をくらふ。
 めんどりのひなをあいす。
 をんどりハうつくしくして時をつ
 ぐ。

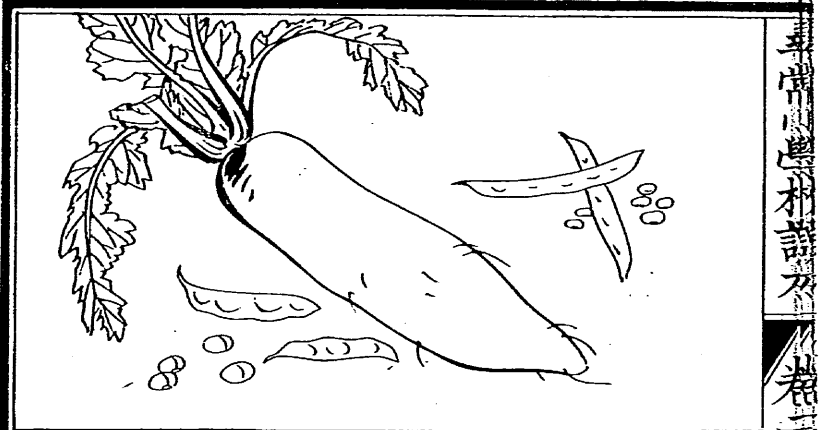
土家鳥又時

いうびん
おつかさんいうび
んがきました。
どれみせておくれ。
あ、これは東京の
兄さんから、おとつ
さんのところへき
たのだよ。あるこへ



もつて行きな。
はい、おとつさん、兄さんのいうびん
でござります。
むすめよ、東京の兄さん、はろくさい
です。ちかくにかへりませう。かへる
ときに、おみやげを持つてまゐり
ませう。

東京 兄 行 持



畑物

大根ハ、なま、又ハ、にて
 食ヒ、あるヒは、一ほづ
 けとなして食ふ。われ
 らの、けつかうなるふ
 だんの食物なり。
 大豆も、われらの、けつ
 かうなる、ふだんの食

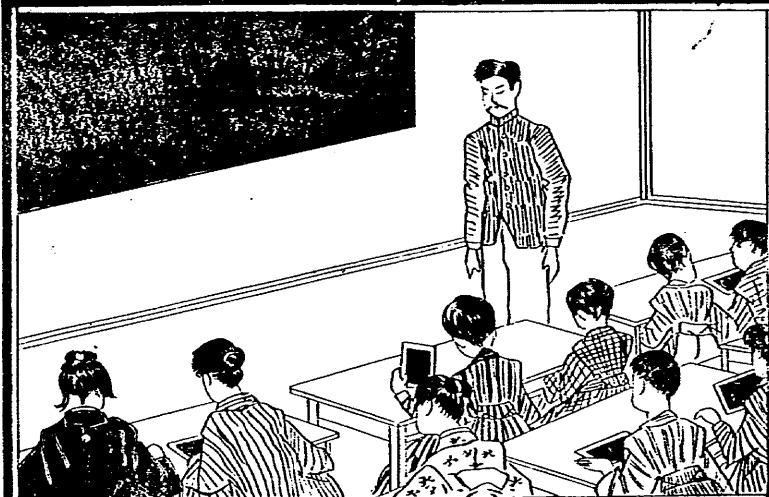
物なり。黑豆、白豆等、いろくあり。

みろ、とうふ、やうゆう等を作るに
 は、みな大豆を用ふ。

小豆ハ、大豆より小さくして、ろの色
 赤し。まんぢう、又ハ、くわーのあんを
 作る。

大根 豆 黒 等 用 作

小 色



學校ノウチ
今ハ、ゴセン九時ナ
リ。ケウシ來レリ。
生徒ハ、皆セキバン
ヲ出サントセリ。コ
レハ、サンジユツヲ、
マナブナルベシ。
ケウシハ、リツパナ

ル人ニテ、生徒ハ、皆ヲトナシク、ヨキ
子供ナリ。

けいこの間は、たがひに、はなをな
し、又わきみなどすべからず。

やすみのあひだ、い友だちと、なかよ
くあそぶべし。けつし、あらうひな

どすべからず。
來出 皆 生徒 子供 間友

學校のかへり

友さん、さあ行きませう。

はい、もすこし、菊の花を見てゆかうでは、ありませぬか。

もう、たくさんでありませう、早くうち



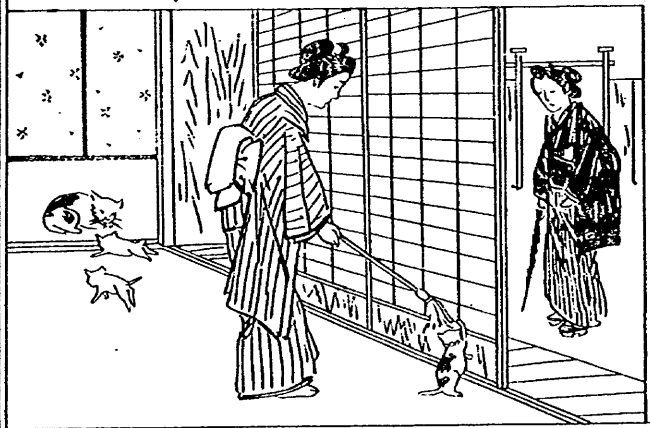
へかへりませぬと、おつかさんが、おまちかねで、ござりませう。今日も、先生がかへりみちにて、ながく、あうんでは、いけませぬと、おつーやつたで、ハ、ありませぬか。

菊 花 早 先生 見

サウヂ

オキヨハ、母ノルスニ、サウヂヲナサ

ントシ、ハタキニテ、シヤウジヲウチ
シニ、子猫ドモ、ワシリ
來リテ、ハタキニタハ
フレタリ。ヲリフシ、カ
ドロニ、人ノ足音シタ
リ。ニセキノ猫ハ、オソ
レテ、オヤ猫ノソバニ、
ニゲ行キタリ。



おきよさん、何をなされるか。
さうぢをいたします。
さうですか。おつかさんは、どうなさ
れました。
母は、用事があつて、出かけました。わ
たしの、るすに、さうじをして、おきま
せうと、おもひます。
うれい、よく、きが、つきましたね。

おばさん、おあがりなさい。何か、母に
ご用がござりますか。



い、この猫をもらひ
に、來ました。おつかさ
んのかへり、お、お、
ござりませうか。
い、江、すぐかへりませ
う。

母 猫 口 足音 何 用事

秋のすゑ、冬のはじめ

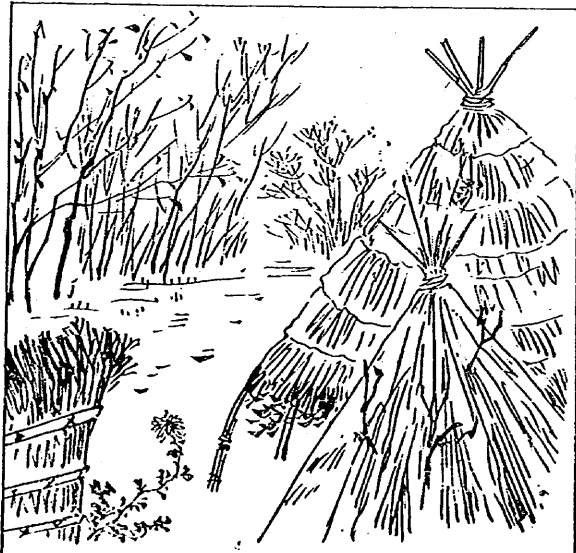
うの、中を見よ。

ぼたんも、みかんも、皆もよけをな
せり。

まがきのきは、の菊は、たゞ、一二り
の花を持ち、木の葉は、皆赤くなりて、
なかば、い、地に、おちたり。

なつの間にあを
あをと、りげりた
る葉も、秋のすゑ
にいたれば、多く
ハ、こうにふゝ冬
に入れれば、たつる
ものなり。

中 秋 冬 葉 地



フビキ



ケサハ、サムイ風ガフキ、雪ガフツテ、
地メンハ、テウド、ワタ
ヲシイタヤウニナリ
マシタ。
此二人ノ子供ハ、ツレ
ダツテ、學校ヘ行キマ
ス。此子供ハ、風ガフイ

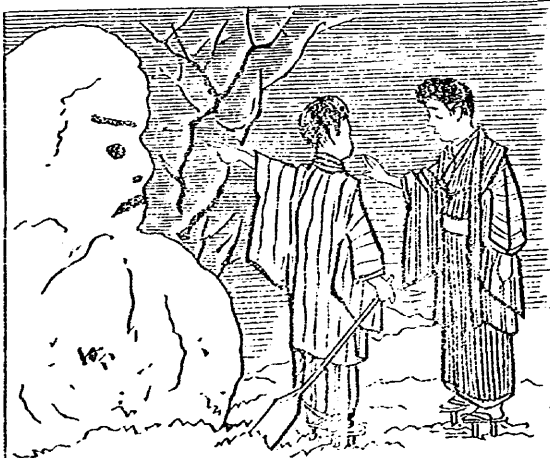
テモ、雪ガフツテモ、休ミマセウ。
カヤウナ子供ハ、ノチニハ、ヨキ人ト
ナリマセウ。

風 雪 此 休

雪だるま

又作さん、大うう、雪がふりました。さ
あ、雪だるまをこしらへて、あそびま
せう。

雪だるまですか。け
さ兄さんが、大きな
のを作りまうたい。
つて見ませう。
友吉さん、大きなだ
るまでござります
ね。あの目の黒いこと、大きな口、目ハ、
なんでござりますか。墨をぬりま



たか。

いに炭を入れまゝした。

ひげハ何でござりますか。

あれハはげでござります。

よくできまゝしたね。わたゝどもハ小
さなだるまをこゝらへませう。

友吉 墨 炭 目

年ノ始



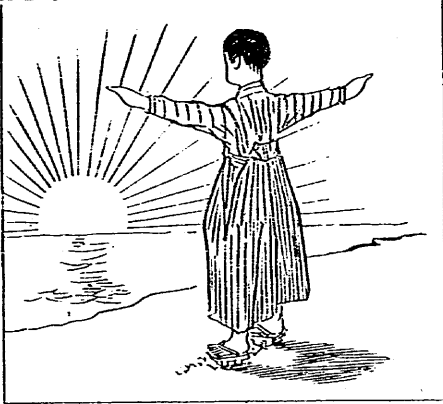
年ノオハリノ日ヲオ
ホミソカトイフ。アク
レバ、一月一日ナリ。日
ノ丸ノハタハ、家々ノ
ノキニカミヤケリ。
ハカマヲツケタル人
アリ。ヤウフクヲキタ
ル人アリ。カイダウハ、

ハナハダニギヤカナリ。
此人々ハシルベノ家へ年始ノイハ
ヒニ行クナリ。

年月丸始

東西南北

日ノ出ヅル方ヲ東トイヒ、日ノ入ル
方ヲ西トイフ。朝日ニ向ヘバ東ハ前
ニテ、西ハ後ナリ。右ハ南ニシテ、左ハ



北ナリ。東西南北ヲ四
方トイフ。

朝日ニ向ヒテタツ子
アリ。此子ノ左ノ手ト
右ノ手トハイヅ方ヲ
サスカ。又前ト後ト
ハイヅレニ向ケ
ルカ。

朝 向 前 後 方 手

まゝごと

おはなさん、一よ
にあろびませう。
おゆきさん、ようお
いでなされました。
昨日、おばさんから
いろくのねもち
やをもらひました。



これごらん。

おはなさん、たくさんござりますね。
なべ、かま、へつひ、まないた、あれば、う
ちやうが、ありませぬよ。わたしのを、
持つてまゐりませうか。

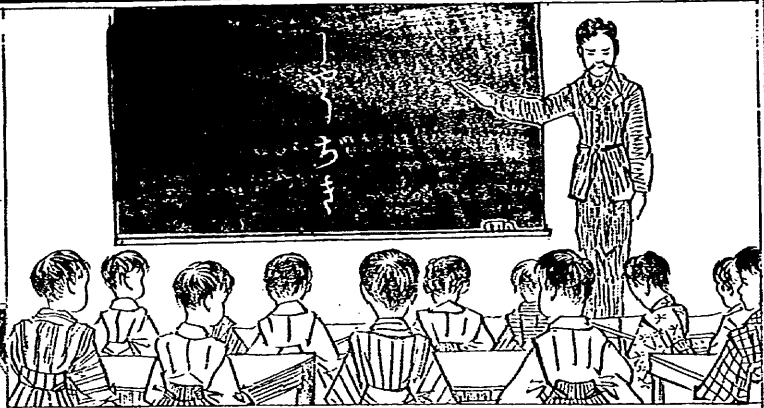
い、あの手箱の中にあります。さあ
さあ、まゝごと、あろびませう。

昨日 手箱

食事

食事ノトキハ、正シクスワリ、飯、シル
 ナドヲ、コボサヌヤウ、キヲツクベシ。
 食事中ハ、ミダリニ、ハナシヲナスベ
 カラズ。
 食事シタルノチハ、湯ヲノミテ、口ヲ
 キヨムベシ。

正飯湯



正直

コ、ハ、ケウシツデア
 リマス。今ハ、シウシン
 ノ時間デアリマス。先
 生ハ、コクバンノ文字
 ヲサシテヲリマス。ソ
 ノ文字ハ、何トカイテ
 アリマスカ。

杞まつといふむすめあり。ある日、母
 より、あいらいき人形をもらひたり。
 杞まつは、よろこびて、手に人形をは
 なさず。あくる日、學校に行くときも、
 ふどころろに入れたり。
 學校にて、人形を友だちに見せんと
 したるに、人形はあらざりき。
 杞まつは、なきいだせり。先生ハ、杞ま

つのなきご急をきゝて、出で來り、い
 かゞたりやと、と
 へり。
 をりふし、杞なほと
 いふ子來りて、たゞ
 今みちで、これをひ
 らひまゝとしたとて、人
 形をさし出だせり。



ねまつは、うれしさのあまり、これであ
りますと、すぐに手を出して、とら
んとせり。

先生は、これをとめて、あなた、ねな
ほさんに、ねれいをいうて、いたゞき
なさいと、をへたり。

ねまつは、こゝろづきて、ねなほにれ
いをいへば、ねなほは、よろこびて、人
形をわたせり。

先生は、ねなほのかしらを、なで、ま
ことに、正直な子だと、ほめたり。

正直 時間 文字 人形

尋常小學校讀本卷二終

2012.8

明治二十五年九月廿八日印刷
同 年十月十日出版

定價金六錢

編輯兼 發行者 倉知新吾

石川縣金澤市片町五十番地三
同縣同市安江町十番地

發行者 近田太三郎

同縣同市上近江町四番地

印刷者 廣瀨與作

發行所 金澤市片町 益智館

同 同市安江町 古香堂

